

インドネシア国パティンバン港と港湾協力に関する覚書を締結しました

横浜市とインドネシア国パティンバン港は、港湾協力に関する覚書を締結しました。両港では、貿易促進及び海事協力、港湾運営及び管理の最適化、人材育成、グリーンポート・イニシアティブに関して、協力・連携を進めます。



左から、PT パティンバン国際港代表取締役社長 フアド・リザル、パティンバン港湾長・港湾管理所長 ムハンマド・アリエフ・アグスティアン、横浜川崎国際港湾株式会社 代表取締役社長 中井拓志（なかい たくじ）、横浜市港湾局長 新保康裕（しんぼ やすひろ）、横浜港埠頭株式会社 代表取締役社長 植松久尚（うえまつ ひさたか）（敬称略）

1 覚書 概要

(1) 正式名称

「パティンバン港長・港湾局クラス II と横浜市 港湾局との間の港湾協力に関する覚書」

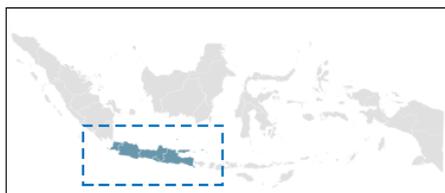
(2) 締結日 令和8年3月27日

(3) 協力分野

- ◎貿易促進および海事協力
- ◎人材育成
- ◎港湾運営および管理の最適化
- ◎グリーンポート・イニシアティブ

2 パティンバン港

インドネシアの首都ジャカルタの約145km東に位置し、既存港の過負荷解消、物流渋滞緩和、自動車輸出拠点強化等を目的に日本政府の援助で整備されている港です。現在、自動車とコンテナ貨物のターミナル整備が進んでおり、ターミナル運営会社には我が国の複数の民間企業が資本参加しています。



Port providing container service on Java Island 出典：パティンバン港資料

お問合せ先

港湾局物流運営課長 飯島 雄一郎 Tel 045-671-2873



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

